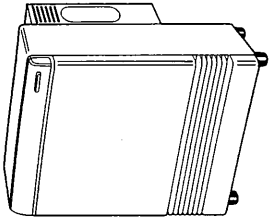


MITSUBISHI

三菱<強制給排式>ガスストーブ>クリーンヒーター。

型式名

- VG-T-296HT
- VG-T-296HT-T (12A・13A用 器具用スリムプラグ付)
- VG-T-426HT
- VG-T-426HT-T (12A・13A用 器具用スリムプラグ付)



お客様専用

取扱説明書

ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。
この説明書はお読みになった後、お使いになるかたがいつでも見られるところに同梱の保証書と共に保存のうえ、ご使用中に
からないことや不具合が生じたとき、お役立てください。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
この製品は給排気工事が必要となりますので、据付工事をお客さまご自身が行わないでください。
(安全や機能の確保ができません。)

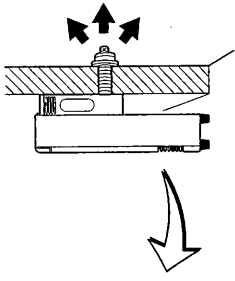
主 特 長

人にやさしいFF(強制給排気)式

暖かくて、空気も汚さない

(FF：強制給排気式)

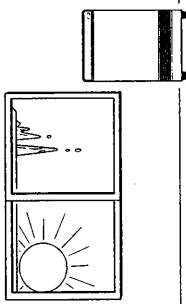
外の空気を使ってパワフル燃焼。
燃焼排ガスを外へ出すから部屋の空気は汚れない。
換気のために窓を開けなくてもいい。



暖まったら自動で節約

(ひかえめ運転)

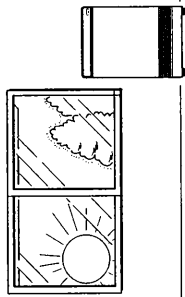
壁や天井が暖まったら、室内温度を自動的に少し低目にコントロールして、エネルギーを節約します。



おめどめの時刻にほどよい暖かさ

(おはようタイムー運転)

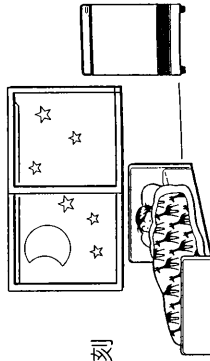
デジタル式24時間タイマーで、ご希望の時刻に自動的に点火します。



おやすみ後に運転をとめたい

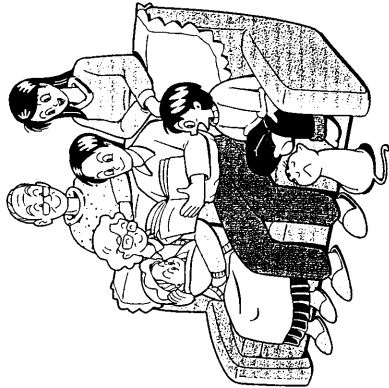
(おやすみタイムー運転)

デジタル式24時間タイマーで、ご希望の時刻に自動的に運転を停止します。



ページ	ご使用のまえに
4~8	安全のために必ずお守りください
9~10	安全のためのお願い
11	各部のなまえとはたらき
12~13	表示部・操作部のなまえとはたらき
14~15	据付けの確認

ページ	使いかた
15	使用前の準備
16	ふだんの使いかた
17	点火・消火
18	室温調節のしかた
19	いろいろな使いかた
20	ひかえめ運転のしかた
21	時刻合わせのしかた
22	タイマー運転のしかた [おやすみ]
23	タイマー運転のしかた [おはよう]
23	タイマー運転のしかた [おやすみ・おはよう]
23	停電のとき
23	風向き調節のしかた



次のようなマークで
必要な情報を示しています。

【お願い】
正しく使っていただく
ための情報です。



より便利にご使用いただく
ための情報です。



細部の機能説明です。



参照ページを示します。

ご使用のまえに

使いかた

お手入れ

こんなとき

安全のために必ずお守りください

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、つぎの表示で区分して説明しています。
- 表示と意味は、次のとおりになっています。
- 図記号の意味は、次のとおりになっています。

△ 危険	誤った取扱をしたときに、死亡や重傷・火災の危険に結びつくもの
△ 警告	誤った取扱をしたときに、死亡や重傷・火災などに結びつく可能性があるもの
△ 注意	誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

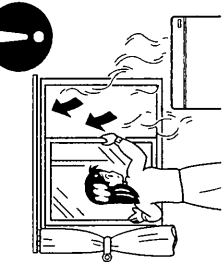
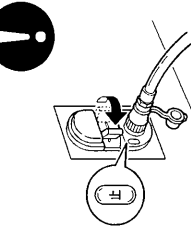
⊘	禁止	指示に従い必ず行う
⊘	分解禁止	電源プラグを抜く
⊘	接触禁止	注意を要する
⊘	ぬれ手禁止	火災注意

⚠ 危険

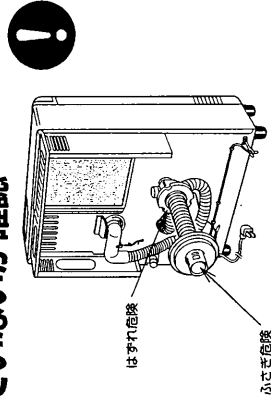
ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者(供給業者)の処置が終わるまでの間絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない
[炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります]

- ① すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる
- ② 窓や戸を開けガスを外へ出す
- ③ 販売店またはお近くのガス事業者(供給業者)に連絡する



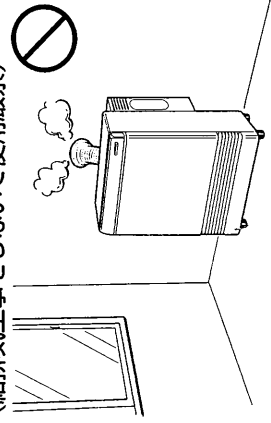
給排気筒のはずれやふさがれ ていないか確認



(はずれていたり、ふさがれていると燃焼排ガスが室内に漏れ、一酸化炭素中毒の原因となります)

室内排気厳禁

(給排気工事をしないで使用厳禁)



(異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります)

	禁止		指示に従い必ず行う
	分解禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止		注意を表わす
	ぬれ手禁止		火災注意

警告

使用ガス・電源について確認
製品右側面に貼り付けてある銘板を確認する

VGT-426HI-T 型番 12A・13A用 12A・7.65kW (4000kcal/h) 13A・5.00kW (4300kcal/h) 設置の方式 外壁用 三菱電機株式会社	この製品は 50Hz用 に調整してあります 60Hz地域の場合は総容量20の ジョイントには別個ジャンパーを 挿入する必要があります。
定格電圧 (AC100V) 定格消費電力 62W/85W 定格周波数 50Hz/60Hz 三菱電機株式会社	燃焼の確認 不備があると、燃焼排ガス漏れ、感電、火災の原因になります



お客さま自身で据付工事をしない
移設時を含め、必ずお買上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく据付けてもらおう

(ガス種や電源が間違っていると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、燃焼点火することがあります)
特に転居の際には必ずご確認ください

ガス事故防止

ガス接続について次の点を確認する

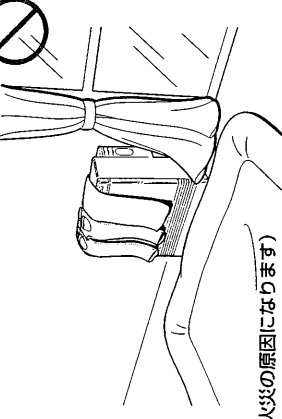
ガス種が12A・13Aの場合 ガス機器用に指定されたガスコードを使用する 	その他のガス種の場合 強化ガスホースで接続する
ガスコード以外のガスホース接続禁止 機器本体 	ガスコード以外のガスホース接続禁止 機器本体

安全のために必ずお守りください

警告

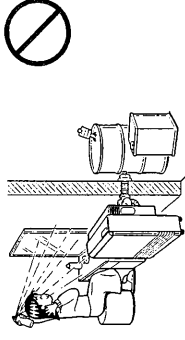
火災予防

燃えやすいものの近接禁止



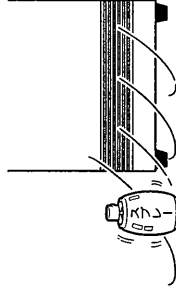
(火災の原因になります)

引火のおそれがあるもの使用禁止
製品や給排気筒トップの周囲にはガソリン・シンナー・スプレーなど引火しやすいものを近づけない



(引火して火災のおそれがあります)

スプレー缶放置厳禁



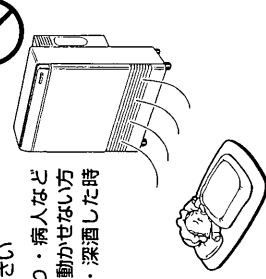
(熱でスプレー缶内の圧力が上がり爆発するおそれがあります)

低温やけどに注意

温風が直接あたる場所で就寝しない

次のような方が使用する場合は周りの人が注意してください

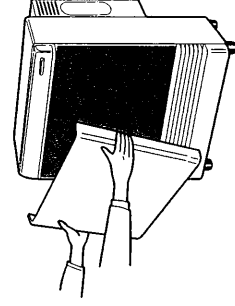
- * 乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かさない方
- * 疲労の激しい時・深酒した時
- * 皮膚の弱い人など



(低温やけど・脱水症状の原因になります)

分解・改造禁止

修理技術者以外の人は分解・修理を行わないでください



(感電事故の原因になります)

に使用のまに

安全のために必ずお守りください

	禁止		指示に従い必ず行う
	分解禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止		注意を表わす
	ぬれ手禁止		火災注意

警告

異常時の処置

使用中に異常な燃焼、臭気、音、温度を感じた場合
使用途中で消火する場合

運転を停止し、ガス栓を閉じて電源プラグを抜く

故障異常の見分け方と処置方法(26~29ページ)に従い処置をする
上記の処置をしても直らない場合はお買上げの販売店に連絡する

地震・火災など緊急の場合

迅速に運転を停止し、ガス栓を閉じて電源プラグを抜く

注意

やけどに注意

高温部にさわらない

温風吹出口や給排気筒トップは使用中や使用直後は高温になっています
(やけどをします)

触れるおそれのある場合はシステム部材のトップガード、クリルガードをご使用ください

燃焼排ガスに注意

愛がん動物や植木などに燃焼排ガスをあてない

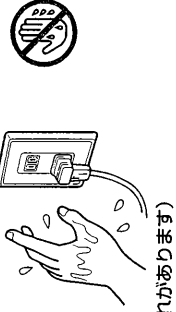
(動物が死んだり、植木が枯れる原因になります)

安全のために必ずお守りください

注意

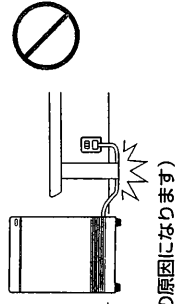
電気事故防止

ぬれた手でプラグの抜き差しをしない



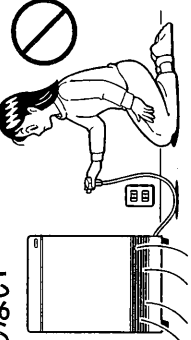
(感電のおそれがあります)

コードの束ね、延長、物乗せ禁止



(火災や感電の原因になります)

プラグの抜き差しによる運転・停止をしない



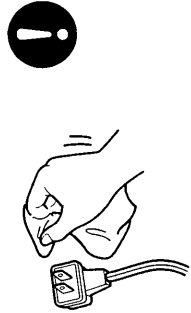
(機器の過熱の原因になります)

プラグは確実に差し込む



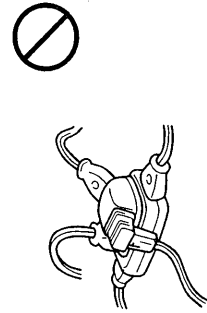
(差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります)

プラグのほこりは拭きとる



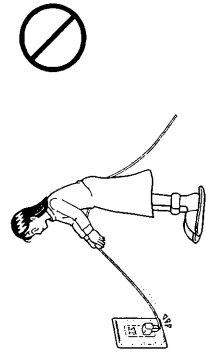
(長期間放置すると、ほこりなどによりプラグ発火の原因になります)

たこ足配線禁止



(コンセントが過熱され発火の原因となります)

交流100V以外では使用しない



(断線して発熱や発火の原因になります)

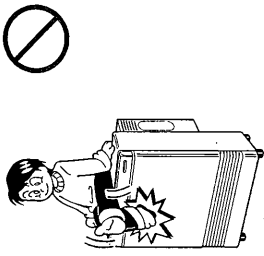
使用のまじに

安全のために必ずお守りください

安全のためのお願い

禁止	指示に従い必ず行う
分解禁止	電源プラグを抜く
接触禁止	注意を要する
ぬれ手禁止	火災注意

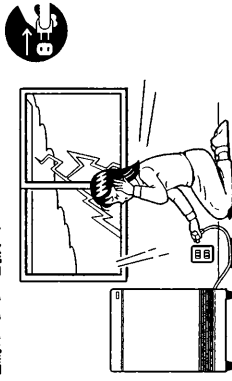
腰をかけたり、物をのせたり、強いシヨックをあたえない



(変形・故障や給排気部品がはずれる原因になります)

雷時の注意

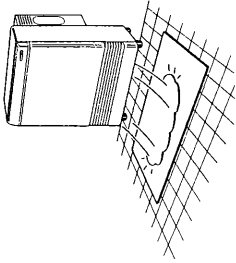
雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを抜く



(雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります)

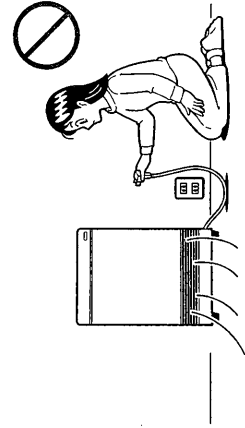
熱に弱い床面は保護する

熱に強いマット類を敷いてください



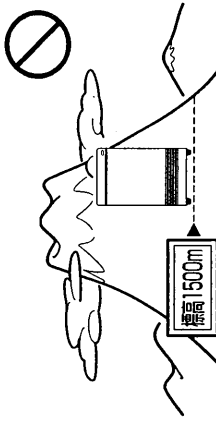
(吹出口前方の床面は、40～50℃程度になります。床面によっては変色したり、変形・収縮することがあります)

燃焼中は電源プラグを抜いたり、元電源(ブレーカー)を切らない



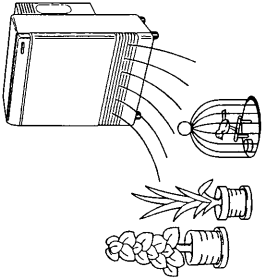
(余熱により故障する原因になります)

標高1500m以上の高地では使用しない



(不完全燃焼の原因になります)

動植物に直接風をあてない



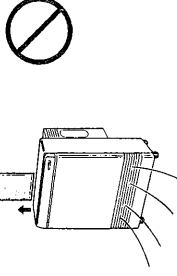
(悪影響を及ぼす原因になります)

安全のためのお願い

禁止	指示に従い必ず行う
分解禁止	電源プラグを抜く
接触禁止	注意を要する
ぬれ手禁止	火災注意

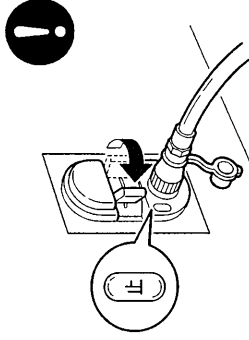
使用中にエアフィルターをはずさない

エアフィルターをはずしたまま使用しない



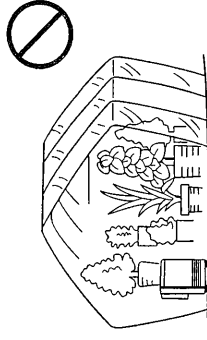
(ほこりが製品内部に入り、発火して火災の原因になります)

使用されないうち、外出の際には必ず部屋のガス栓を閉めてください



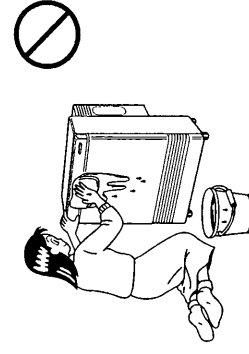
他の目的に使用しない

食品・動植物・精密機器・美術品などの保存等
特殊な用途には使用しない



(美術品などの品質が低下する原因になります)

製品を水洗いしない
また、濡れた手で操作しない



(感電の原因になります)

ご使用のまことに

安全のためのお願い
安全のために必ずお読みください

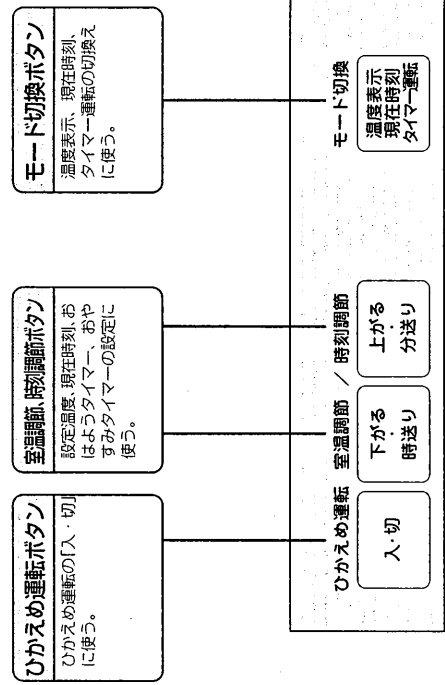


わかりやすいボタンだから
操作もカンタン!

操作部

ご使用のまえに

表示部・操作部のなまえをよんでおきましょう



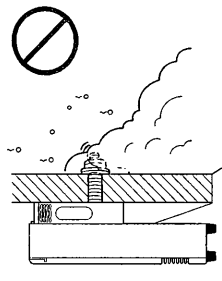
※操作トアを開けて操作を行います。

据付けの確認

警告

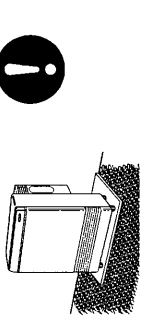
給排気筒トップが積雪や屋根から落ちた雪
でふさがらないようにする
严寒地域では給排気筒トップにつらがつ
くことがありますので注意してください

(ふさがると運転停止や爆発点火することがあります)
積雪時には給排気筒トップの点検と除雪を行ってください



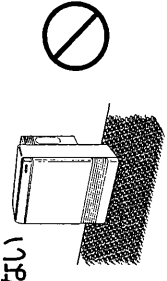
注意

毛足の長いじゅうたんの上に据付
ける場合は、安定のよい敷き板な
どを敷いて水平にする



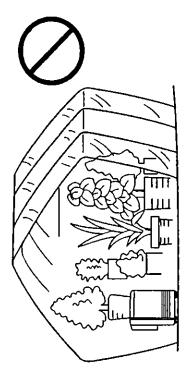
(製品が不安定になったり、じゅうたんが変色するこ
とがあります)

電気カーペット・温水マットの上に
は据付けけない



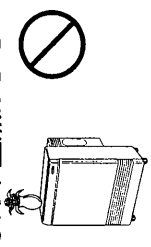
(重みで電気カーペット・温水マットが故障するこ
とがあります)

温室・動植物の飼育室など、特
殊な場所には据付けけない



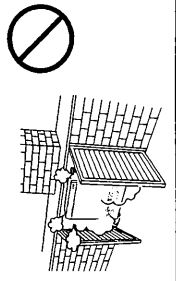
(植物が枯れたり、動物が死亡することがあります)

水のかかる場所には据付けけない
製品の上に花びんや金魚ばちを
置けない



(製品内部に浸水するおそれがあり、絶縁劣化による
感電の原因となります)

温風吹き出し口前方にギヤリリ(格子)
を取付けけない

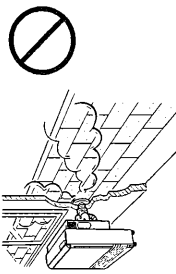


(室温調節が正しく行われないうえ、高温となり火災の原因)
となります)

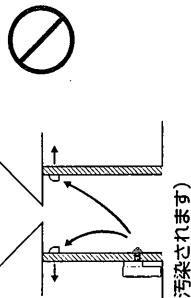
	禁止		指示に従い必ず行う
	分解禁止		電源プラグを抜く
	接触禁止		注意を表わす
	ぬれ手禁止		火気注意

注意

燃焼排ガスがよどむ場所には据付けられない



燃焼排ガスが室内(隣家も含め)に入りやすいところには据付けられない

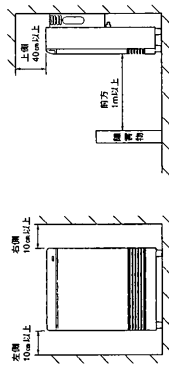


(燃焼排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起したり、運転停止したりすることがあります)

(室内空気が汚染されます)

製品と周囲との離隔距離

製品を据付ける場合は、火災予防のため「ガス機器の設置基準及び業務指針」に定められた寸法および、据付工事、給排気周りの点検、アフターサービスを行うために必要は下記の空間寸法を必ずとってください。



理由
上側 エアフィルター上の清掃
左側 壁の変色防止
右側 アフターサービス
前方 温風の短絡防止

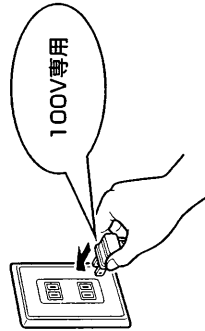
- ガス栓の開閉、電源プラグの抜き差しが容易にできるようにしてください
- 電源コードが排気筒に接触しないよう十分離してください
[詳しくは設置工事説明書をご覧ください]

使用前の準備

運転開始前の準備

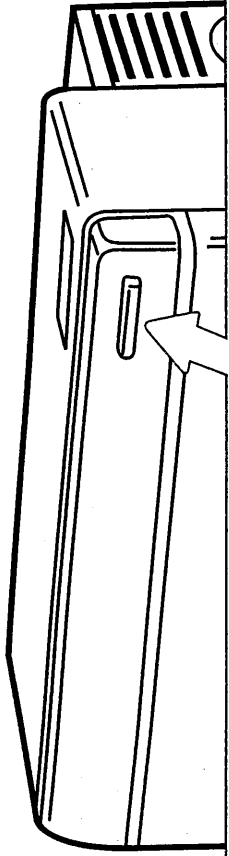
■ 電源プラグをコンセントに差し込む

■ 部屋のガス栓を全開にする



(但し、ガス栓が開閉ツマミの無い「ガスコンセント」の場合は、ガスコード等のソケットを「ガスコンセント」へ取り付けますと自動的に開栓します)

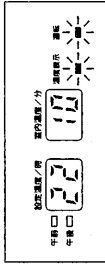
ふだんの使いかた 点火・消火



点火のしかた

運転スイッチを押して「入」にします

表示部



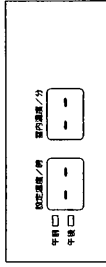
工場出荷時は22℃に設定されています。

- 点火するとパワーモニターランプが点灯します。
- 温風がゆるやかに出はじめ、徐々に増加します。

消火のしかた

運転スイッチを押して「切」にします

表示部



- 運転ランプが消灯し、燃焼を停止します。
- しばらくして温風が自動的に止まります。

現在時刻がセットされています

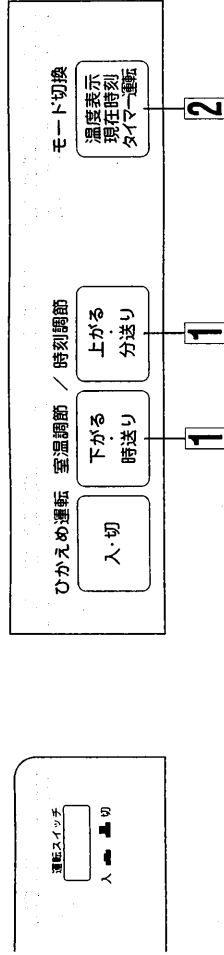
現在時刻の合わせかた
.....**19**

例) 午後9時40分の表示



ふだんの使いかた

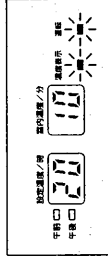
室温調節のしかた



例] 設定温度を20℃に調節する場合
準備 ・運転スイッチを「入」にする。

1 「上がる」または「下がる」ボタンを押して20℃を表示させる
 ●温度表示ランプが点灯していることを確認する。

表示部

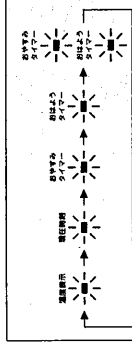


●温度表示ランプが点灯中のとき操作できます。
 ●8℃～30℃の範囲で調節できます。

2 温度表示ランプが点灯していないときはモード切替ボタンを押す
 ●温度表示ランプを点灯させる。

モード切替
 温度表示
 現在時刻
 タイマー運転

ボタンを押すことにより変わります。

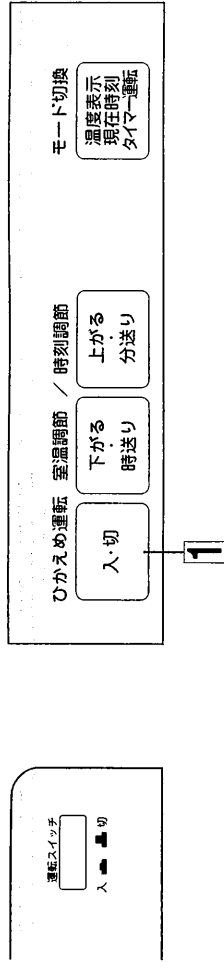


現在時刻を合わせていないと表示は変わりません。
 現在時刻の合わせかた……………19

いろいろな使いかた

ひかえめ運転のしかた

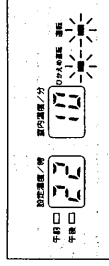
設定温度表示と室内温度表示とが同一温度になってから30分後に室内温度を1℃下げ、さらに30分後に1℃下げます。(設定温度表示は変わりません)



準備 ・運転スイッチを「入」にする。

1 ひかえめ運転ボタンを押す
 ●ひかえめ運転ランプが点灯します。

表示部



次のようなときはひかえめ運転が解除されます。
 ●ひかえめ運転ボタンを再度押したとき

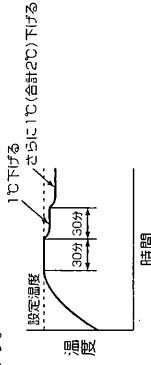
●おはようタイマー運転中、おやすみタイマー運転中でもセットすることができません。
 ●ひかえめ運転中に設定温度を変更したときは、変更した設定温度でひかえめ運転をします。

室温調節のしかた
 点滅・消火

ひかえめ運転とは

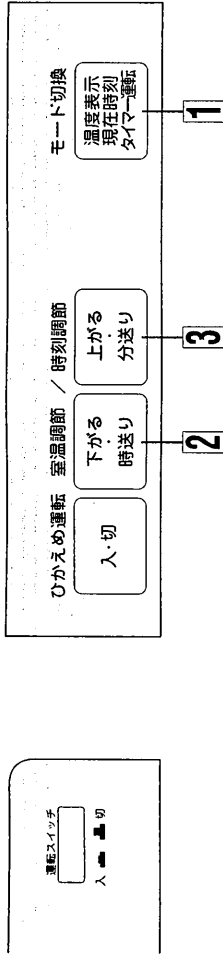
お部屋を暖房中、壁や天井などが暖まってくると、冷えていくときにくらべて、同じ室温でも暖かく感じます。そこで暖め過ぎたり、余分なエネルギーを使用しないように、少し設定温度よりも下げて運転するのがひかえめ運転です。
 ひかえめ運転ランプを点灯しておくことで、製品が自動的に調整して行うもので、快適に省エネになる工夫です。

お部屋の温度が設定温度に到達後、30分たつと設定温度を自動的に1℃低くし、さらに30分たつと設定温度をさらに1℃低くします。



いろいろなる使いかた

時刻合わせのしかた

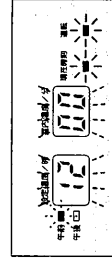


例] 午後6時12分に合わせる場合

- 準備) ・運転スイッチを「入」にする。

1 モード切換ボタンを押す

- モード切換 ●現在時刻ランプを点灯させる。
- 温度表示 現在時刻 タイマー運転 ●デジタル表示部が点滅します。



表示部

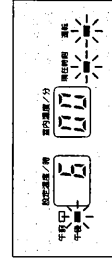
「午前」と「12:00」が点滅します。

使いかた

2 「時送り」ボタンを押して「時」を合わせる

- 至温調節 ●「午後」[6]を表示させる。

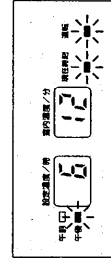
1～12時まで表示可能
「時送り」ボタンを押すことにより「午前」か「午後」のランプが点灯します。



3 「分送り」ボタンを押して「分」を合わせる

- 時刻調節 ●「12」を表示させる。

0～59分まで表示可能

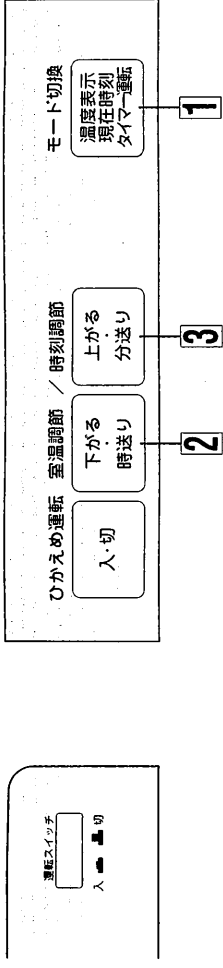


「時送り」・「分送り」ボタンは押し続ける
と表示が連続して変わります。

いろいろなる使いかた

タイマー運転のしかた「おやすみ」

寝る前に「おやすみタイマー」をお好みの時刻にセットしておやすみになりますと自動的に運転を停止します。

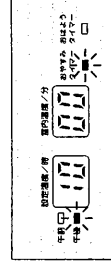


例] 午後11時15分にセットする場合

- 準備) ・運転スイッチを「入」にする。
- ・現在時刻を合わせていないと使用できません。

1 モード切換ボタンを押す

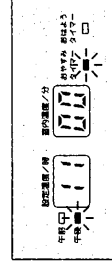
- モード切換 ●おやすみタイマーランプを点灯させます。
- 温度表示 現在時刻 タイマー運転 ●おやすみタイマー時刻は工場出荷時午後「10:00」にセットされています。



表示部

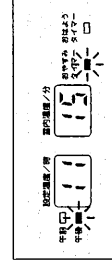
2 「時送り」ボタンを押して「時」をセットする

- 至温調節 ●「午後」[11]を表示させる。



3 「分送り」ボタンを押して「分」をセットする

- 時刻調節 ●「15」を表示させる。
- セット完了。



●おやすみタイマー時刻になると自動的に運転を停止します。

おやすみタイマーで運転を停止したときの表示

次のようなときはおやすみタイマー運転が解除されます。

- モード切換ボタンを押しておやすみタイマーランプが消灯したとき
- 運転スイッチを押して「切」にしたとき

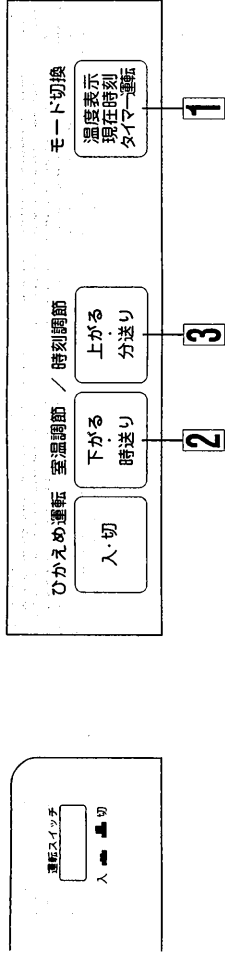
●同じ時刻におやすみタイマー運転をしたいとき

- 運転中におやすみタイマーボタンを押します。タイマー時刻は一度セットすれば記憶されています。

いろいろな使いかた

タイマー運転のしかた「おはよう」

寝る前に「おはようタイマー」をセットすると、セット時刻に運転を開始します。



例] 午前6時30分にセットする場合

- 準備
 - ・運転スイッチを「入」にする。
 - ・現在時刻を合わせていないと使用できません。

1 モード切替ボタンを押す

モード切替
温度表示
現在時刻
タイマー運転

●おはようタイマーランプを点灯させます。
●おはようタイマー時刻を表示します。



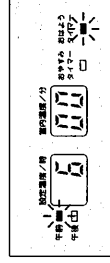
表示部

- 燃焼中に押すと燃焼が停止します。
- おはようタイマー時刻は工場出荷時午前5:00にセットされています。

使いかた

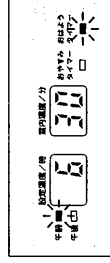
2 「時送り」ボタンを押して「時」をセットする

●「午前」[6]を表示させる。

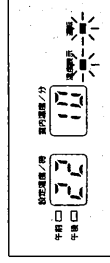


3 「分送り」ボタンを押して「分」をセットする

●「30」を表示させる。
●セット完了。



●おはようタイマー時刻になるとおはようタイマーランプが消灯し、暖房運転を開始します。



おはようタイマーで運転を開始したときの表示

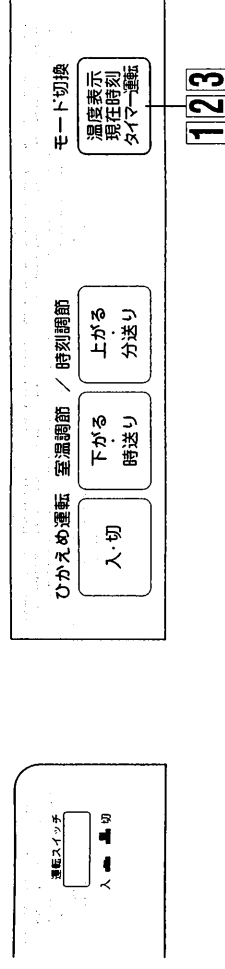
- 同じ時刻におはようタイマー運転をしたいとき
- 運転中におはようタイマーボタンを押します。タイマー時刻は一度セットすれば記憶されています。

- 次のようなときはおはようタイマー運転が解除されます。
 - モード切替ボタンを押しておはようタイマーランプが消灯したとき
 - 運転スイッチを押して「切」にしたとき

いろいろな使いかた

タイマー運転のしかた「おやすみ・おはよう」

おやすみタイマーで運転を停止し、おはようタイマーで運転を開始します。

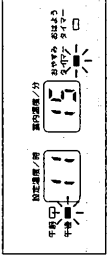


- 準備
 - ・運転スイッチを「入」にする。
 - ・現在時刻を合わせていないと使用できません。

1 モード切替ボタンを押す

モード切替
温度表示
現在時刻
タイマー運転

●おやすみタイマーランプを点灯させます。
●おやすみタイマー時刻を確認します。



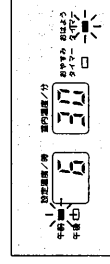
表示部

例] おやすみタイマー時刻を午後11時15分にセットした場合
時刻を変更したいとき…[2]

2 モード切替ボタンを押す

モード切替
温度表示
現在時刻
タイマー運転

●おはようタイマーランプを点灯させます。
●おはようタイマー時刻を確認します。

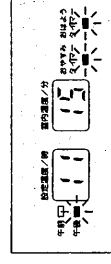


例] おはようタイマー時刻を午前6時30分にセットした場合
時刻を変更したいとき…[2]

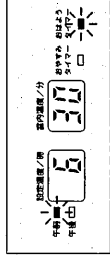
3 モード切替ボタンを押す

モード切替
温度表示
現在時刻
タイマー運転

●おやすみタイマーとおはようタイマーランプを同時に点灯させます。
●セット完了。



●おやすみタイマー時刻に運転を停止し、おはようタイマー時刻に運転を開始します。



おやすみタイマー運転終了時の表示

- おはようタイマーで運転を開始して、おやすみタイマーで運転を停止することはできません。

いろいろな使いかた 停電のとき

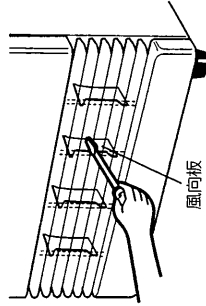
停電または電源プラグを抜いたときはすべての設定が取り消されます。再度下記の設定を行ってください。

- 設定温度.....**17** ●おはようタイマー運転...**21**
- ひかえめ運転.....**18** ●おやすみタイマー運転...**20**
- 現在時刻.....**19**

再通電後の表示部は



いろいろな使いかた 風向き調節のしかた



風向きを左右に変えるには、温風吹出口の裏の風向板を棒状のもの（ドライバーなど）で動かします。

△注意 使用中や使用直後は高温になっていますので、絶対に風向き調節はしないでください。

【お願い】

- 左右の調節は3～5回が限度です。それ以上動かすと折れることがあります。
- 上下の風向き調節はできません。無理に下向きに変えると、床面が変色したり、変形・収縮することがあります。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのとき

- 必ず運転スイッチを「切」にして運転を停止し、ガス栓を閉じて、製品が冷えた状態で行ってください。
- お手入れの際はけが防止のために手袋の着用をおすすめします。

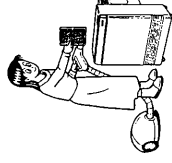
シーズンはじめ

- 給気ホース・排気筒の接続箇所がはずれていないか確認します。
- 給排気筒トップ
屋外の給排気筒トップ先端がくもの巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。
- 時刻合わせ
時刻合わせのしかたにより設定してください。**19**

使いかた

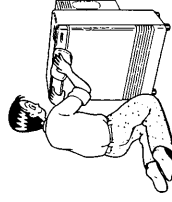
1週間に1回以上

- エアフィルターへの清掃
エアフィルターを、図のように取りはずし、掃除機などでほこりを取り除きます。
温風吹出口から風が出ていないのを確認してから行ってください。送風中に行くと製品内部にほこりが入ることがあります。



1か月に1回以上

- 外觀の清掃
製品外觀・温風吹出口などの汚れは乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。
シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。
(塗装面やプラスチックをいためません)



使用のたびに

- 燃焼排ガス
燃焼排ガスのおいや、目がチカチカしないか点検します。燃焼排ガスが室内に漏れていると一酸化炭素中毒の恐れがあり非常に危険です。
- ガス漏れ
製品周辺がガス臭くないか点検します。
- 周囲の可燃物・引火物
製品の上や周囲・給排気筒トップの周辺に可燃物、引火物がないか点検します。

使いかた
おはようタイマー運転のしかた
風向き調節のしかた
おやすみタイマー運転のしかた

定期点検

強制給排気式ガスタートアップクリーンヒーターTMは使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので、専門技術者による定期点検を受けてください。

定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。
ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ(例えば、厨房室や製綿工場など)、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買上げになった販売店にご相談ください。

★定期点検

定期点検は専門の技術者が、据付状態、給排気まわりの点検・安全装置及び運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検等を行います。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けつけてください。

★お申し込み先

お客様さま→お買上げになった販売店、またはお近くの三菱電機お客様さま相談窓口

★定期点検費用

定期点検の費用についてはお買上げの販売店にご相談ください。
定期点検の結果、部品交換及び修理等が必要な場合は、処置内容及び費用についてお客様さまにご相談申しあげます。

定期点検の内容

	定期点検の内容	項目
1	据付状態、給排気まわりの点検・確認	●製品の据付け・使用状態 ●給排気筒の接続とつまり
2	安全装置、及び運転動作の点検・確認	●安全装置の動き ●操作部品や動く部品の動き
3	環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	●給排気系部品、電気接点部品などの点検 ●点火電極、炎後知器などの点検 (劣化の状態により交換の場合もあります)
4	製品の清掃・整備	●本体内 ●温風吹出口

故障・異常の見分けかたと処置方法

■表示ランプにより故障・異常をお知らせします

表示	原因	処置方法
運転ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
フィルターランプ点滅 E-12	過熱防止装置が作動	28
E-00	停電時安全装置が作動	28
E-01 E-13	立消え安全装置が作動	28
E-04	給排気筒トップの給気口、排気口がふさがれていませんか? 排気筒、給気ホースの長さが長すぎませんか? 途中にへこみ部がありませんか?	取り除く 修理を依頼する
E-06	電源投入時にマイコンが50Hz、60Hzの識別ができなかった	電源プラグを一旦抜いて差し込む
E-09	排気筒はすれ検知装置が作動	修理を依頼する
E-02 E-06 E-05 E-07 E-08 E-10	故障です	電源プラグを抜き、お買上げの販売店に表示の内容をご連絡ください
室内温度表示(L)	室内温度が0℃未満であることを表わす	そのままご使用ください 室温が上がっても表示が変わらないときはお買上げの販売店にご連絡ください
室内温度表示(H)	室内温度が36℃以上であることを表わす	そのままご使用ください 室温が下がっても表示が変わらないときはお買上げの販売店にご連絡ください

上記の処置をしてもなおらない場合や、修理が必要な場合は、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いて、ガス栓を閉じてください。その後お買上げの販売店に修理依頼または、お近くの「三菱電機お客様さま相談窓口」にご相談ください。

お手入れ
定期点検
手入れのとき

故障・異常の見分けかたと処置方法

■故障かな？ 次の症状は故障ではありません

症状	原因と対策
シーズン始め、または長時間運転しなかつたとき、なかなか点火しない	ガス配管の中に空気が入っていることがありますので3～4回点火操作を繰り返して点火すれば正常です
初めて運転したとき、またはシーズン始めに煙やにおいがする	内部の熱交換器などに付着した油やほこりが焼けるためです しばらく換気しながらご使用ください
ピッピッと音かする ゴツンというような音がする	燃焼器の熱伸縮音がすることがありますが異常ではありません
運転スイッチ「入」でなかなか点火しない	室内温度表示が設定温度より高いと点火しません
設定温度より室内温度表示が高くなっても消火しない	室内温度表示が設定温度より2℃高くなると消火するように制御しています
室内温度表示と室温が一致しない	製品の左側に壁、家具等がある場合には一致しないことがあります ルームサーモの位置を変えることにより室内温度表示と室温を近づけることができます (販売店にご相談ください)
給排気筒トップから湯気が出る	燃焼排ガスは水蒸気を多く含んでいます 水蒸気が冷たい外気にふれて白く見えるためです
ピッピッと音がする ゴツンというような音がする	燃焼器の熱伸縮音がすることがありますが異常ではありません
運転スイッチを「切」にしてもすぐに温風が止まらない	数分間製品内部を冷やしてから自動的に止まります
部屋が乾燥する	部屋の温度が上がると湿度が下がります 市販の加湿器をご使用ください

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いて、ガス栓を閉じてください。その後お買上げの販売店に修理依頼または、お近くの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

■安全装置が作動したときの処置方法

現象	処置方法
過熱防止装置 エアフィルターにほこりが詰まったり、温風吹出口に障害物があることで温風の量が少なくなり、製品内部が過熱しかけると「フィルターランプが点滅します」 エアフィルターの清掃をしながら、他の原因でさらに製品内部の温度が高くなると、過熱防止装置が作動して運転を停止し、ピッピッと5回ブザーを鳴らし「E-12」を表示します	運転スイッチを「切」にして障害物を取り除いたり、エアフィルターの清掃を行ってください… ²⁴ 運転スイッチを「切」にしないとランプの点滅は解除されません エアフィルターの清掃などで対応できない場合はお買上げの販売店が、お近くの「三菱電機お客さま相談窓口」にご相談ください
停電時安全装置 運転スイッチが「入」の状態でも電源プラグを差し込んで運転はしません 運転中に停電したときは運転が停止し、再び通電しても自動的に運転はしません このときピッピッと5回ブザーを鳴らし「E-00」を表示します	運転スイッチを押しなおせば運転できます
立消え安全装置 ガス圧が低かったり、ガスの流れが一時的に断されたときに運転を停止し、ピッピッと5回ブザーを鳴らし「E-01」を表示します 給排気筒トップの先端部(屋外)に障害物があったり、積雪で周囲が囲われたりして燃焼排ガスが給気口に吸い込まれるようなときに運転を停止し、ピッピッと5回ブザーを鳴らし「E-01」「E-13」を表示します	部屋のガス栓が全開になっているか確認してください 給排気筒トップの先端部(屋外)が障害物や積雪による囲い状態になっていないか確認して障害物などを取り除いてください

以上の処置を行っても不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いて、ガス栓を閉じてください。その後お買上げの販売店へ修理依頼または、お近くの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

こんなとき

部品交換のしかた

長期間のご使用で、消耗、劣化しやすい部品があります。お買い上げの販売店か、お近くの「三菱電機お客さま相談窓口」にお問い合わせください。専門技術者が修理いたします。不完全な修理は危険です。

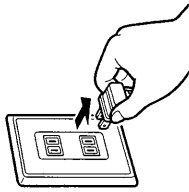
■消耗、劣化しやすい部品

- 各種パッキン、排気筒接続用Oリング ●点火電極、炎検知器(フレームロッド)など
- 給排気系部品 ●燃焼系部品 ●電気接点部品

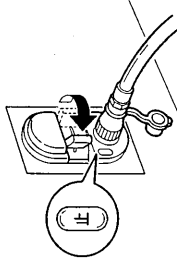
長期間使用しない場合

■長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。
製品は据付けのままにしてください。

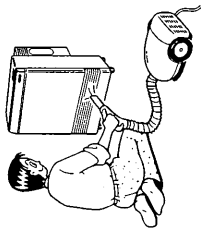
1 電源プラグをコンセントから抜いてください。



2 ガス栓を閉じてください。



3 製品外観、エアフィルター、温風吹出口の掃除をしてください。



【お願い】

やむをえず取りはずして保管するときは温気やほこりの少ないところに保管してください。再び挿付けるときは必ずお買い上げになった販売店か、お近くの「三菱電機お客さま相談窓口」に依頼してください。

こんな症状のときは

使用を中止しお買い上げの販売店または、お近くの三菱電機お客さま相談窓口にて修理依頼してください。

症状	予期される故障
燃焼確認窓が「すす」で汚れて炎かみえない	不完全燃焼をしている
使用中に「ポーン」という大きな音がする	●部品が故障している ●給排気に支障がある
燃焼排ガスのにおいがしたり、目かチカチカする	燃焼排ガスが室内に漏れている

故障・異常の見分けかたと処置方法

こんなとき

地震などの災害が発生したときの点検

☆地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ず次の点検を実施してください。

点検内容

●給排気回りのはずれ、漏れの確認 ●ガス配管からの漏れの確認

☆点検で異常が見つかったときや、点検したのち使用しているときに燃焼排ガスのにおいがしたり、目がチカチカするときは、使用を中止してお買上げの販売店か、お近くの「三菱電機お客さま相談窓口」へ修理依頼してください。

地震などの災害が発生したときの点検
部品交換のしかた 長期使用しない場合は

こんなとき

据付工事後の確認と試運転

据付工事後の確認

据付工事終了後に販売店・工事店ともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。

点検	点検内容	チェック結果
力 ス	銘板は使用ガス種に適合していますか。	
電源(電圧・周波数)	銘板は使用電源(電圧・周波数)に適合していますか。	
可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災防止の措置は十分ですか。	
保守・管理上の空間	操作・点検・修理に必要な空間はありますか。	
安全 据 付	床面が不安定な場所に据付けてありますか。	
	製品の壁・床への固定はされていますか。	
給気ホース接続部	給気ホースは確実に接続され、給気ホースバンドで固定してありますか。	
排気筒接続部	排気筒は確実に接続され、C形ストッパーで固定してありますか。	
	給排気筒トップの「上」印が上になっていますか。	
	給排気筒トップの周囲は基準寸法が守られていますか。	
	排気筒に給気ホースやカーテンなど、燃えやすいものが接触していませんか。	
	燃焼排ガスは屋外へ排気されていますか。	
給排気筒及び給排気筒トップ	給排気筒トップの周囲に障害物(樹木・愛かん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	
	給排気筒トップの周囲に危険物(灯油、カンリン、シンナー等)はありませんか。	
	給排気筒トップの給気口から燃焼空気が吸い込まれていますか。異物でふさがっていませんか。	
	給排気筒トップの排気口より燃焼排ガスが出ていませんか。	
	集合煙突に給排気筒トップを取付けた工事はされていますか。	
	床下への直接排気や、天井裏への給排気工事はしてありますか。	
給排気筒延長	排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	
	給気ホース・排気筒の長さは4m以内で曲がり数3か所以内ですか。	
	排気筒の途中に水かたまるようなへこみ部分はありませんか。	
	排気筒のドレンもとり長さは2.5m以下になっていますか。	
電気配線	電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか。	
	電源コードは高温部に触れていませんか。	
	電源コンセントは電源プラグの抜き差しが容易な位置にありますか。	
ガス接続部	ガス接続は正しく接続されていますか。長さは適切ですか。	
排気筒はずれ検知リード	排気筒はずれ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。	
	排気筒はずれ検知リードは、排気筒に接続していませんか。	

上記が守られないと火災・不完全燃焼などをおこす恐れがありますので、販売店に正しい処置をご依頼ください。

保証とアフターサービス

試運転

試運転は、販売店・工事店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店・工事店より説明を受けてください。

運転準備

1 電源プラグをコンセント(单相100V)に確実に差し込みます。

2 お部屋のガス栓を全開にします。

運転開始と停止の手順



1 運転スイッチを押して「入」にします。
運転ランプが点灯し、燃焼を開始して温風が出ます。その状態で約15分間運転して異常表示が出ないが確認してください。

2 再度運転スイッチを押して「切」にします。
運転ランプが消灯し、しばらくして本体が冷えると温風が停止します。

据り上後
の確認

ほんまじま

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は右一覧表で
修理のお問い合わせ 「修理窓口」へ
●その他のお問い合わせ 「ご相談窓口」へ

保証期間は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受けください。
●内容をよくお読みください。大切に保存してください。

保証期間…お買上げ日から1年間。
(ただし、燃焼器部分については3年間です。)

補修用性能部品の保有期間は

●当社は、この三菱クリーンヒーターの補修用性能部品を製造打ち切り後10年保有しています。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?」と思ったら(26~29ページ)にしてお調べください。
い。なお、不具合があるときは、運転スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

●保証期間がすぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料+部品代(出張料)などで構成されています。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名 クリーンヒーター

2. 形名

3. お買上げ年・月・日

4. 故障内容

5. 住所・名前・電話番号

付近の目印なども

この製品は日本国内用です。日本国外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内 (家電品)

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ
転居や贈答品などでお買上げの販売店へ
ご依頼できない場合は

修理のお問い合わせは

その他のお問い合わせは

修理窓口へ

ご相談窓口へ

修理窓口 電話受付：365日24時間

北海道地区	
札幌 (011) 890-7520	帯広 (0155) 35-3111
札幌市東区大谷地東 2-1-18	帯広市西15条南 14-1
旭川 (0166) 26-5580	苫小牧 (0144) 55-1114
旭川市南1条 8-1-4	苫小牧市明野新町 2-1-18
北見 (0157) 25-7045	小樽 (0134) 33-3380
北見市並木町 500-5	小樽市森 2-28-22
釧路 (0154) 24-1355	函館 (0138) 49-0345
釧路市善多町 2-25	函館市西持後町 889-57

東北地区

青森 (017) 773-8381	秋田 (018) 865-4471
青森市大字青木野原 37-184	秋田市八橋三和町 19-36
弘前 (0172) 32-6535	横手 (0182) 32-1785
弘前市大字箕山 4-20-3	横手市別荘 3-2
八戸 (0178) 28-8544	大館 (0186) 42-2781
八戸市大字長根代字下郷子谷地 6-8	大館市旗田 2-5-44
盛岡 (019) 637-7454	山形 (023) 624-0018
盛岡市弘道13地割 30-11	山形市大野目 2-1-21
水沢 (0197) 25-4511	鶴岡 (0235) 24-6161
水沢市田町 2-3	鶴岡市上町 5-4
仙台 (022) 738-1773	郡山 (024) 959-6543
仙台市青葉区大町 2-18-23	郡山市豊久田町 1-76-1
気仙沼 (0226) 23-8485	会津 (0242) 27-4426
気仙沼市中町 2-9-2	会津若松市天草寺町 3-7
石巻 (0225) 95-9111	原町 (0244) 24-2842
石巻市旭町番台 16-268	原町市北町 1-173
古川 (0229) 24-3595	いわき (0246) 26-1822
古川市秋葉大字 2-25-1	いわき市内原台南町番 75-8

